

4年間の学びのステップ

1年次 リスクとは何かを知り、背景となる経済活動の仕組みを学修します。

2年次 4分野の基礎を横断的に学びます。

3年次 研究室に所属し、具体的手法を学びます。

4年次 卒業研究に取り組み関心のあるテーマを掘り下げます。

「リスク」を理解するには、社会がどんなシステムで動いているか、企業が意思決定を行うプロセスなど、背景となる経済活動を知らなければなりません。そういった基本の学修から、リスクへの理解を進めます。なお国際コース希望学生は、英語の集中学修も開始します。

1年次の基本的な学びを一步進め、専門的な学修に備えます。金融・情報・生産・生活の4分野の社会的・技術的なメカニズムを理解するとともに、それぞれどのようなリスクが潜んでいるか、考えを深めていきます。国際コースの学生は、夏期休暇にグアム大学で2科目を履修します。

3年次から研究室に所属。学修した基礎理論をもとに研究室のテーマに沿って、4分野のケーススタディに取り組み、マニュアル制作や行動指針の策定など具体的なリスクマネジメントの手法を身につけます。国際コースの学生には海外インターンシップや海外研修の機会を与えます。

学修の総仕上げとなる卒業研究に取り組みます。関心のあるテーマに絞り込み、事例の調査やリスク課題を研究し、卒業論文を作成・発表します。その過程で、プレゼンテーションや文書作成の能力も養い、実社会で能力を発揮できる力を身につけていきます。

科目		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
教養基礎科目	コミュニケーションスキル	ステップアップ・イングリッシュ1 英語コミュニケーションA1 センテンス・ストラクチャ1 英語コミュニケーションB1 英語コンプリヘンションC1 英語コミュニケーションC1 日本語表現法	ステップアップ・イングリッシュ2 英語コミュニケーションA2 センテンス・ストラクチャ2 英語コミュニケーションB2 英語コンプリヘンションC2 英語コミュニケーションC2	英語コンプリヘンションA1 アドバンスト・コミュニケーションA1 アドバンスト・コミュニケーションB1 アドバンスト・コミュニケーションC1 アドバンスト・コミュニケーションC1	英語コンプリヘンションA2 アドバンスト・コミュニケーションA2 アドバンスト・コミュニケーションB2 アドバンスト・コミュニケーションB2 アドバンスト・コミュニケーションC2 アドバンスト・コミュニケーションC2				
	情報リテラシー	情報処理							
	人間力養成	スポーツ科学 初年次教育 キャリアデザイン1	キャリアデザイン2			キャリアデザイン3			
	国際理解	異文化理解 言語と文化1 言語と文化2				グローバル時代の法 国際社会論			
教養共通科目	人間・社会・自然の理解	哲学 倫理学 文学と芸術 歴史と人間 心理学 身体と健康の科学 憲法と社会 現代社会論 科学技術史 環境科学概論				政治と社会 経済学 生命科学 地球科学 物理の世界と先端技術 物質科学			
	総合				課題探究セミナー 総合学際科目				
教養特別科目		ソーシャルアクティブラーニング 国際インターン 国内インターン ボランティア				イングリッシュアクティブラーニング1 イングリッシュアクティブラーニング2 イングリッシュアクティブラーニング3 スポーツアクティブラーニング	イングリッシュアクティブラーニング2	総合科学特論	
	学部共通専門科目	論理的理解の養成 エンジニアリングの養成 社会システム科学の基礎	基礎数学および演習 情報リテラシー ベンチャービジネス論 社会システム科学入門	線形代数入門 ベンチャービジネス論 企業法的環境 社会システムと意思決定	オペレーションズリサーチ入門 科学技術者倫理 環境保護と法 ビジネスコミュニケーション	データ解析入門 データマイニング入門			
専門科目	基礎科目	情報処理基礎および演習 リスク科学概論	コンピュータサイエンス入門 経済金融入門	プログラム言語基礎 環境リスク 確率論	ファイナンス概論				
	基幹科目	安全と安心の心理		リスク対策と保険 ※グローバル・スタディーズI ※グローバル・スタディーズII	知的財産権 経営管理論 会計システム 金融リスク論 情報リスクマネジメント 製品安全管理	安全システム工学 投資意思決定の数理 環境リスク分析 生活とリスク 社会心理学 データサイエンスおよび演習			
	展開科目					サービスサイエンス入門 金融工学 コーポレートファイナンス 情報システム開発 サイバースクワメント	組織運営のリスクマネジメント 投資戦略と評価 技術開発リスクマネジメント 資源・エネルギーリスクマネジメント 産業・組織心理学 環境リスクマネジメントおよび演習 ヒューマンファクターのリスクおよび演習 リスクコミュニケーションおよび演習 生産システムおよび演習 金融・経営リスクマネジメント実践		
発展科目					ゼミナール1	ゼミナール2 課題研究		卒業研究	

TOPICS

国際コースとは？!

海外の経済事情・異文化を理解し、コミュニケーション能力を高めて国際社会で活躍できるグローバル人材を育成します。このコースの履修者は、2年次前期に3週間、グアム大学で講義に参加します。また海外インターンシップや研究の機会を与えます。



グアム大学


※カリキュラムは一部変更となる場合があります。

(赤文字：必修科目 緑文字：コース必修科目 青文字：指定科目 黒文字：選択科目)
※国際コースのみ履修可能

研究室 Pick up!

「情報」と「経営」。企業が抱える2つの「リスク」を徹底分析。

グローバル化とIT化が進む現代の企業は、常に2つの大きなリスクにさらされています。ひとつは、個人情報の流出やウイルス感染といった情報リスク。もうひとつは、不正会計や偽装、災害対策といった経営リスクです。これらが適切に管理できていなければ、たとえ大企業であっても致命傷になりかねないことは、皆さんも日々のニュースで目していることでしょう。リスク管理の仕組みを作り、それを社員に徹底させて、きちんと運用する能力はすべての企業で強く求められています。私たちの研究室では、テキストの精読や事例研究を通して、仕組みづくりと人材教育の手法を学び、システムと運用の両面から企業の抱えるリスクに立ち向かいます。




情報セキュリティと経営リスク管理、グローバル経営、IT活用と管理

森 雅俊教授

「資源小国ニッポン」を救うイノベーションを見出す人材を育てます。

日本は資源・エネルギーの多くを海外に依存しているのが実情。それだけに海外での紛争や政情不安があると、多くの企業が資源価格変動のあおりを受けて打撃を受けています。私たちの研究室では資源、エネルギー分野にどんなリスクがあるのかを認識、そのリスクをどうやって克服していくかを考えています。国の施策が大きく影響する分野ではありますが、国の動きに左右されるばかりでは、企業の経営は立ち行かず、リスクを恐れているばかりでは進歩はありません。経済の一线に立つ企業が、どのようにリスクを回避するか、どのような技術開発でそれを乗り越えていくか、日本の企業人として、ぜひとも考え方のベースに持っておきたい視点を培います。



意思決定、技術経営、未利用資源・地球環境、経営戦略、経営資源、ビジネス創成、ビジネス資源、防災

山崎 晃教授